

女、高遠、保科肥後守家臣、小原内匠室、寛永二〇年九月八日歿、
栄譽暁意禪定尼

一八代

為忠（飯島伝兵衛尉）

元和五年五月一七日歿、雲岫瑞觀禪定門

室、水戸公家中梶李右衛門女、明暦三年九月九日歿、天倫宗祐禪定尼
為貞（飯島與五右衛門、三太夫）

松本在赤怒田村に別家、寛永一五年一〇月一七日歿、春如院法善日持
女、大草村高坂五郎右衛門道伯室
女、小笠原壹岐守家臣、百束（百足）九郎右衛門室
女、高遠町宮下彦兵衛室

一九代

為永（梶興右衛門尉、龍勢）

（為房、飯島与右衛門尉）

幼名甚太郎、父早世に付母方梶家に養なわれ故に姓を梶と名乗る。井伊家
に被召抱、井伊朝貞頭貞滋公の御守役（教育係）となり、御逝去の後飯島
郷に帰り飯島与右衛門為房と名乗る。『為房遺言状』を残す。

寛文一三年九月二五日歿、天祥院華嶽龍勢居士、赤坂墓地

室、大草村高坂弥兵衛女、延宝三年一〇月二五日歿、凍雲定雪大姉
（飯島久左衛門）

寛永一六年九月一八日歿、蘭景宝室禪定門